

## 幅広い農業者支援を！



衣笠 利則 議員  
(21政会・加西ともて育つ会)



**問** 肥料価格高騰対策について。

**答** 海外原料に依存している化学肥料の低減や堆肥等の国内飼料の活用に取り組む農業者に対し、肥料コスト上昇分の約7割相当を国が支援し、農業経営に及ぼす影響を緩和するものです。

事業は兵庫県農業活性化協議会が実施し、農協等が取組実施者として農業者の申請を受け付けます。申請には作業計画や化学肥料2割低減実現のための取組が必要となっており、国は2030年までに化学肥料使用量の20%低減を目標としています。

**問** 安心・安全な食料の基本は農業であることを踏まえ、加西市の農業はどうあるべきか考えていくとともに、希望、夢を持つことができる農業にしていく必要がある。加西市としての考えは。

**答** 加西市における農業の課題は、農業従事者の高齢化による離農と後継者不足による農家数の減少です。

国において人・農地プランが法定化され、市としても地域の話合いによる農地の維持、担い手の農地集積化、担い手の発掘が図られるよう協力するとともに、中小規模農家の方も地域の担い手として活躍できるよう補助の仕組みを検討したいと考えます。また、集落営農組織協議会では、コスト削減と労働力の調整を行う集落営農の2階建て方式の勉強会が始まり、将来的には農作物の産地化を進め

ることで販売が有利になるのではと期待しています。

みどりの食料システム戦略における食の安全にも取り組み、オーガニック給食などの研究も開始したいと思います。今後二、三年で方向を見定め、加西市の農業政策を進めていきたいと考えます。

**問** 農業には農協の関わりが非常に大事だが、市の考えは。

**答** 農協は中小規模農家にとってなくてはならない存在で、また人・農地プランの作成に当たっても協力が必要となっています。今後とも連携を密にしながら十分話し合い、加西市の農業の将来に向けて取り組んでいきます。

### ■その他の質問項目

・ 県道 372 号線剣坂交差点の安全対策は

## sora かさいと巨大防空壕シアターについて聞く！



黒田 秀一 議員  
(自由民主党・無所属の会)



**問** sora かさい駐車場から入り口までの動線について。

**答** 施設南側の正面には身障者用駐車場を設けていますが、団体を含め個人客は北側駐車場から西側の歩道を通って入り口に向かうようになっています。歩道の屋根などの整備は計画当初からなく、雨の際には傘をお使いいただく必要があります。施設北側に団体専用入口も設けており、今後は使用したいと考えます。

**問** 団体用トイレの設置場所について。

**答** 12月に完成した団体用トイレは、北側駐車場に止めてすぐ使用できるよう、特に女性の観光客などがバスから降りて使用できるような配置としています。

**問** 備蓄倉庫があり sora かさいから滑走路が一望できない。

**答** 備蓄倉庫南側は防災ゾーンとして防災訓練などに使えるよう広場を設け、災害時の物資集荷等の場を確保しているため、北側に sora かさいを建設しました。倉庫外観は飛行機の格納庫をイメージし、当時の雰囲気を感じられるよう景観に配慮しました。

**問** sora かさいの床のひび割れや東側通路の急勾配を指摘したが、どう対処されるのか。

**答** 床のひび割れは大小にかかわらず発生しますが、現在

補修中です。東側通路については、建築物四隅の高さは同じで、西側道路との高さが違うために土間コンクリートで急勾配を取っています。観光客は西側を通る想定で設計しており、通行用でないことを明示して西側に誘導しています。

**問** 巨大防空壕の所有者は。また、シアター観覧を無料から有料へ変更した理由について。

**答** 巨大防空壕は神戸大学の所有ですが、施設の使用許可を頂き、無償で借り受けています。令和4年度から、民間委託により土日祝日にシアター上映などツアー型サービスを実施し、その代金を頂戴しています。ツアー代金はサービス手数料と位置づけ、地方自治法の規定による使用料ではなく、公共料金問題審議会も通す必要はないと考えます。